

5 環境 都市

緑の映える快適なまち



大賞を受賞しました。

50万都市にふさわしい 都市基盤の整備

◎ JR松山駅周辺整備



JR松山駅周辺整備イメージ

JR松山駅を中心に行われている「松山駅周辺整備事業」約2・4^{km}にわたるJR予讃線の高架化にあわせて、50万都市の玄関口にふさわしい駅前広場の整備に取り組みます。また、高架化により鉄道で分断されている東西市街地のアクセス向上や、土地区画整備事業に伴い幹線道路や公園が整備され、防災力強化にもつながります。さらに、高架下をめぐり松山西環状線まで路面電車を約700^mが延伸させる計画で、市街地の均衡ある発展に期待がかかります。

環境教育の充実

◎ 環境教育プログラムの策定

全国で23都市しかない「環境モデル都市」に選定されている本市では、次世代を担う小中学生を対象とする環境教育の充実に取り組んでいます。平成27年度からは、二カ年にわたって姉妹都市であるドイ



ウェブ
フライブルク市とのWeb会議の風景

ツ・フライブルク市とWeb会議を開催し、その優れた環境教育のノウハウを基に、本市独自の小学生向け環境教育プログラムを作成しました。今後はこの環境教育プログラムを市内の小中学校などで環境学習や総合学習の際に活用していただけるよう積極的に啓発します。

まちなかの空間再編で にぎわいを創出

◎ 中心市街地活性化

民間事業者が取り組む一番町口、二番町などの再開発を支援し、商業、ビジネス、居住などの都市機能がコンパクトにまとまった中心市街地を活性化します。特に、まちなかの憩いの場として整備した「みんなのひろば」は子どもたちでにぎわい、あわせてまちづくりの拠点施設として整備した『松山アーバンデザインセンター』では、大学生や市民が主体となつてにぎわい空間のあり方などを検討しています。

これまでの官民連携したまちづくりの取り組みが認められ、平成28年に「ロープウェイ街・大街道周辺地区」は都市景観大賞で四国初の国土交通大臣賞を、「みんなのひろば」は一般社団法人国土政策研究所主催のまちなか広場賞で全国初の



子どもたちが思い思いに楽しむ「みんなのひろば」

ここがいい、加減。

松山人が語る幸せの種



マルチクリエイター
ミズモトアキラさん

まちも農作物と同じように 土地に合う実を結ぶことが大切

私はUターンで松山市に帰ってきました。帰郷のきっかけのひとつは、2011年に開催された中心商店街活性化イベントに出演したこと。その際、松山のまちづくりに取り組む人々と出会い、新しい流れができていることを実感。「このまちは楽しくなりそうだな」と思ったことが後押しになりました。まちの未来を考えたとき、私たちはつつい他所の土地の成功例をお手本にしがち。でもまちも農作物と同じで、松山という土壌にあった取り組みがあるはず。たとえば、松山の昔を手本に、新たなにぎわいを育てていくのもいいと思います。